

(1) 年 教科【 美術 】

使用教科書	美術 1 (開隆堂)	
学習の目標 ・ねらい	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく態度を培い、意図に応じて表現方法を工夫すること、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりする力を育成する。	
年間の 授業内容	前期	<p>4月 オリエンテーション、美術って、何だろう？ (鑑賞) 生活を豊かに「色の性質」</p> <p>5月 生活を豊かに「色の性質」「レタリング」</p> <p>6月 一点透視図法で描こう、日本の美術について知ろう (鑑賞)</p> <p>7月 表現の広がり「静物画」「ポスター作成」</p> <p>9月 ↓</p> <p>10月 材料を生かして「堆朱ストラップ」</p> <p>11月 ↓</p> <p>12月 「モダンテクニック」</p> <p>1月 ↓</p> <p>2月 ものを見つめる「デッサン」「オノマトペを活用した4コマ漫画」</p> <p>3月 ↓</p> <p>※作品作りの後には、必ず鑑賞会を設ける。</p>
特色ある 学習など	<ul style="list-style-type: none"> ・活動形態…個人活動、ペア学習 ・使用機器…情報機器、視聴覚機器 	
評価の観点	<p>知識及び技能：見たことや感じたこと、考えたこと、心の世界などを基に、表現したい主題を生み出し、創造的な構成を工夫しようとしているか。</p> <p>思考・判断・表現：自らが発想や構想したことを基に表し方を創意工夫し、創造的に作品を作り上げているか。また、美術の持つ良さや美しさを感じ取って鑑賞することができるか。</p> <p>主体的に取り組む態度：創作活動への喜びを味わい、意欲的に美術の授業に取り組むことができたか。</p>	
評価の方法	・作品やプリントなど提出物の内容、授業態度、発表の内容などで総合的に評価する。	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂に伴い、評価については、重みづけはしない。 ・用具の扱いには十分気を付ける。 	